

平成30年度八富成田斎場管理運営連絡協議会会議概要

1. 開催日時

平成30年7月30日（月） 午後2時00分～午後2時40分

2. 開催場所

成田市花崎町760番地 成田市役所6階中会議室

3. 出席者

小泉会長(成田市長)

北村副会長(八街市長)、相川副会長(富里市長)、関根副会長(成田市副市長)

神崎(勝)委員、一山委員、鬼澤委員・・・(成田市議会選出)

小菅委員、服部委員・・・(八街市議会選出)

櫻井委員、田口委員・・・(富里市議会選出)

成田市環境部長、環境部統括、環境衛生課長、環境衛生課主幹

環境衛生課斎場担当者

八街市経済環境部長、環境課長、環境課斎場担当者

富里市市民経済環境部長、環境課長、環境課副主幹、環境課斎場担当者

4. 議題

- 1 献体の火葬場使用料の取り扱いについて
- 2 市民の火葬場使用料について
- 3 八富成田斎場長寿命化計画について
- 4 その他

5. 議事（要旨）

・議題1について事務局から説明

国際医療福祉大学医学部では、2学年の1月から3月に解剖実習を行うカリキュラムとなっており、平成31年2月から、毎年約40体前後の献体を火葬する必要が生じるとのことである。その際の火葬費用については、県内では千葉市が減免することにより、市民料金と同額で受け入れている状況があり、同大学からも同様な配慮を求められているため、その取扱いについて議題とした。

献体の火葬料金については、関東地区の医学部のある大学で、どのように取り扱われているかを調査したが、対象の24大学中、17大学が献体の火葬料金負担において何らかの配慮を受けている状況であり、都内で民間の火葬場を利用している大学を除けば、おおむね市民料金相当に、減額されている傾向が伺えた。

ただし、八富成田斎場においては、市民料金は無料としているため、県内の公設の火葬場における、市民料金を調査したところ、平均は、ほぼ1万円となり、この辺りが市民料金の水準になってくるのではないかと考えた。

事務局としては、これらの点を、踏まえ、大学から負担していただく使用料は、県内で医学部を抱える、千葉市の6千円、あるいは、千葉市の6千円は市外料金6万円の1割であることから、八富成田斎場の市外料金8万円の1割である8千円のいずれかの金額で検討をお願いした。

なお、使用料金をどの様に規定するかについては、現行条例において「市長は、必要があると認めるときは、使用料の一部又は全部を減免することができる。」とされているので、献体に供されたことが医学の発展に貢献する等の公益性を有するものであることから、千葉市同様に減免によることとさせていただき、「必要があると認めるとき」の具体的な部分については、千葉市が要綱で規定していることから、同様に要綱で対応させていただきたい旨を説明した。

議題1に関する質問は以下のとおり。

(○意見や質問、◆意見や質問に関する回答)

○相川副会長 献体はどのような病気で亡くなったのか、火葬の方法に差はあるのか。

◆事務局 亡くなった理由は、それぞれだと思うが、生前より献体の希望をされていた方で、死後、ホルマリン漬けの状態で大学内にて保存されていた。献体に供された後は通常の遺体と同様の方法で火葬される。ホルマリン自体が火葬に影響ないこと、市民の方の利用を優先するために火葬を延期した場合、多少の保存期間延長も問題がないことを大学側にすでに確認している。

○北村副会長 千葉市の献体料金は区域外料金の十分の一とされており、その割合

が今回の議論において一つの基準となるように思われる。

◆**小泉議長** 千葉市同様9割減免の8千円とするか、千葉市に合わせ6千円とするか議論はそこになると思うがどうか？

○**櫻井委員** 献体料金については議会で検討すべき課題なのでは？

◆**事務局** 斎場については、設置及び管理に関する条例を成田市で定めているものの、実際の運営、方向性については3市に直接関連する事項であるため、協議会の中で検討していただくべき内容と考えている。本件は、市長が減免する内容に関わることなので、この場で決めていただきたいと思いますと思い提案させていただいた。

○**神崎（勝）委員** 献体について、学生の実習が目的とのことだが、国や県より補助はあるのか。

◆**事務局** 大学に確認したところ、国や県からの補助はないとのこと。

○**鬼澤委員** 献体の火葬1体あたりの公費負担はどれほどか。

◆**事務局** 現在の市外料金8万円については、平成18年に料金見直しを行っている。この金額は当時の火葬経費の総額を実際の火葬件数で割り返した場合の費用によって算出されている。現在のコストは火葬件数も違うため、厳密には差が生じているかもしれないが、今回議論されている6～8千円という献体1体あたりの料金を差し引いた額が概ね公費負担の金額になるものと考えている。

○**一山委員** 献体1体あたりの料金について、大学の意向としてはどのように依頼があったのか。

◆**事務局** 大学からは千葉市で負担を求められている6千円と同等の水準を希望する旨確認している。なお、市民の方が献体となった場合、料金は無料となる。

最終的に、富里市と八街市から、減免する金額については、成田市で決めていただければ、それに賛同したい旨の発言があり、成田市で決めさせていただくこととなった。

・議題2について事務局から説明

市民の火葬料金については、富里市長からの発議により平成23～24年度にかけて有料化を議題として審議された経緯があったが、議論がまとまらず、継続協議となった。また、平成26年度の連絡協議会でも、今後、火葬炉交換等の大規模修繕が必要である点を説明した際に、新たな経費負担の発生が見込まれることから再度、市民負担の議論の必要性について発言があった。

その様な中で、今年度末には、長寿命化計画が策定され、今後15年程度を見据えた、八富成田斎場を維持していく上での経費の全容も見えてくることとなるため、市民負担の必要性も含め、連絡協議会の場で、今後、審議していただくこととするため議題とした。

なお、審議を進めるにあたり、担当部署でも詰めていくが、三市の議会においても意見集約を深めていただきたい旨を説明した。

議題2に関する質問は以下のとおり。

(○意見や質問、◆意見や質問に関する回答)

○一山委員 火葬料金について供用開始から無料とされてきた経緯について確認したい。

◆事務局 供用開始以前の各市では、それぞれに火葬費用を有料としていたものの、供用開始にあたり、人生の最期に誰もが利用する施設という理由から火葬費用を無料としたと聞いている。

議題2は各市議会で有料化の可否について意見集約に努めていただくこと、各市事務担当部署においても有料化について検討していくこととされた。

・議題3について事務局から説明

今年度実施する八富成田斎場長寿命化計画の策定について、これまでの事業者選定や業務委託契約の概要、今後の計画策定の進め方を説明した。

計画については、現時点で報告できる内容は無く、来年1月予定の通常の連絡

協議会までには、途中経過等を報告できる見込みである旨を説明した。

議題3に関する質問は以下のとおり。

(○意見や質問、◆意見や質問に関する回答)

○鬼澤委員 シャワー室の設置について、浴槽があった方がなお良いのでは。

◆事務局 今年度設置工事を行うシャワー室について、これまで検討を重ねて運転手控室の一部に落ち着いた、現状で建物に浴室のスペースを確保することは難しいので、今後の再整備における検討課題とさせて頂きたいと考えている。

○北村副会長 修繕や設備の交換が始まった時に、本来の使用が制限されることはないのか。

◆事務局 斎場は運用を止めることはできない施設と考えている。長寿命化が利用の妨げとなることのないよう、極力努めていきたい。

○小菅委員 設備だけでなく、建物そのものについても検討の対象となるのか。

◆事務局 今回、火葬炉を交換するので、火葬場としての寿命が延びる。建物についても点検交換により15年は伸ばしたいと考えている。

議題3は承認された。

6. その他

- ・斎場建物内シャワー室の設置工事について、事務局から経過説明を行った。

7. 傍聴

3名（成田市在住）